

北海道知事
高橋はるみ殿

要望書
米海軍イージス艦マスティンの
石狩湾新港への寄港を許可しないよう求めます

2012年 1月20日

安保破棄北海道実行委員会 代表委員 畠山 和也
石狩市平和を守る連絡協議会 代表 舩甚 秀男
米艦寄港反対小樽連絡会 代表 青柳かおる

報道によれば、米海軍所属のイージス艦マスティンが、2月6日から石狩湾新港への寄港を計画しています。奥尻島沖でのミサイル防衛にかかわる訓練の途上もしくは終了後の寄港であると推測されます。

「友好・親善」が寄港目的とされていますが、本当に「友好・親善」を求めるならば、軍艦で乗りつけてくるべきではありません。道民の平和な暮らしを守ることを第一の責務とする道知事として、商業港である石狩湾新港への軍艦の入港を、決して認めないよう強く求めます。

1. 同時期に、苫小牧港・函館港へ2隻の米軍艦船が相次いで寄港を計画しています。二度と戦力を持たず、アジアと世界の平和に貢献すると憲法に明記した日本の商業港に、軍艦が自由に入出入りすることは憲法の「想定外」であり、許せません。

2. 核兵器の搭載の有無を照会しているとのことですが、米軍は搭載の有無について回答しないことを公式に表明しており、照会自体が「寄港ありき」のパフォーマンスに過ぎません。核兵器搭載能力を持つ艦船の寄港に対しては、「非核証明書」の提出を義務つけるべきです（「神戸方式」）。

3. もし寄港を許せば、多くの米兵が上陸し、雪まつりを含めて一般市民社会の中にやってくると予想されます。沖縄や横須賀の例を見るまでもなく、「人殺し」の訓練を行ってきたばかりの米兵による傷害・殺人事件の危険は極めて高いものがあります。道民の安全を守るための万全の体制を求めます。

連絡先：安保破棄北海道実行委員会事務局
札幌市北区北14西3 1-12
TEL (011) 758-4585
担当：橘（北海道民医連事務局）